

みんなの森 通信

Vol. 38

2023年3月発行
社会福祉法人 みんなの森福祉会
理事長 大嶋 弘之



ホームページに
ジャンプできます

〒432-8038
静岡県浜松市中区西伊場町 7-5
TEL 053-488-6166 FAX 053-455-2333
<http://minnano-mori.sakura.ne.jp>



不適切保育に対する当法人の取り組み

保育施設での不適切保育が社会問題化しています。これに関する当法人での取り組みをお伝えします。毎年実施の全職員対象の憲法研修では「子どもの人権」について研修を行っています。今年度はジェンダーの視点での声掛けについて話題があがり、子どもへの人権意識を高めることができました。1月は各園の職員会議で、人権や虐待についての意見交流をしました。子どもの危険回避のために強く手を引いてしまうなど、その場面だけを見れば不適切保育と言われそうなこともある等、意見が出ています。人手不足が子どもへの荒い対応や、見落としにも繋がり、根本的には低い保育士配置基準の改定が必要で、行政への投げかけも進めています。

以下は当法人も加盟している「全国民間保育園経営研究懇話会」の発表した声明です。



「もう1人保育士を！」
愛知で始まった運動に私
たちも賛同しています

【緊急声明】

全国民間保育園経営研究懇話会

保育施設における虐待・権利侵害の防止に関する声明

静岡県の保育施設において、園児に対する虐待事案が確認されました。保育所は就学前の子どもたちにとって安心・安全な場であり、健やかな育ちを保障する、地域になくしてはならない施設です。先には通園バスに置き去りにされた園児の死亡事故が発生。今回不適切な保育や虐待が行われていたことは、誠に遺憾であり、強い衝撃を受けています。詳細が明らかになるにつれて、施設が虐待の事実を隠蔽し、自治体は事実を把握しながら県との特別監査を大幅に遅れて実施するなど、対応の遅れは保護者をはじめ保育関係者はもちろん、多くの人々の保育行政に対する不信を招いています。

安心して子どもを預けられるはずの保育施設で、絶対にあってはならないことです。同様の事案は全国で相次いでおり、実態の徹底した究明と、再発防止策を急ぐ必要があります。私たちには、同様な事故、事案を未然に防ぐために、早期発見の仕組みを整えることが求められています。さらに保育に関わる全ての職員や施設管理者の意識改革、内部通報などの仕組みを整備し、十分な研修体制、市町村や都道府県との連携強化などが必要です。

また、多くの保育関係者の中から、保育者が委縮して本来の保育ができなくなるのではないかとという危惧が生まれています。

今回の事案は到底許されるものではありません。虐待容疑の保育士や施設管理者の責任は重大です。同時に、なぜこのようなことが起こったのか、事案の背景についても検証する必要があります。現在の保育現場は多様なニーズに応える高い専門性が求められる中、限られた人員でゆとりある体制が保障されていない現実があります。4,5歳児では一人の保育士が30人の園児をみなければならないなど、諸外国と比べても最低レベルの人員配置基準となっています。保護者との意思疎通を図り、職員間で連携して情報共有し、支援し合うことが難しくなっています。ゆとりのない保育施設では、どこでも今回のような事案の起きるリスクを抱えていると言えます。

私たちは、この機会に憲法・子どもの権利条約・児童憲章・児童福祉法などを土台として、子どもたちの権利を守り、子どもたちの権利を守り、最善の利益を保障する保育の基本を確認し、日々の保育をあらためて点検します。そして、すべての保育関係者と共に保育の諸条件を充実させるために全力を傾けてまいります。

2023年1月

大人の元気は、子どもの笑顔 どんぐり保育園

今年も、乳児運動会と幼児運動会と分けて行いました。どちらの運動会も父母と職員の会の運動会実行委員の方たちが、知恵を絞って、みんなが楽しめる種目を決めてくれました。

コロナ禍で、運動会の保護者種目を経験したことがない方も、経験者に支えられ、和やかな雰囲気で行うことができました。子どもたちは自分の家族や、知っている他の家族の姿を見ながら笑顔いっぱい応援していました。

今後も、父母と職員の会の活動を通して、みんなで行事を作りながら、子どもに笑顔を届けられるよう活動していきたいと思います。



【子どもに笑顔を与えた大人のレース】

いざ！大根の収穫へ！ くすのき保育園

先日、保育園の近所の方の畑で、大根の収穫をさせていただきました。散歩の道中にお家があるので、種まきをさせていただいた日から何度か大根の様子を見ていました。種まきから約3ヶ月たった1月。ついに収穫の時が！畑の土から盛り上がるように大きく育った大根を見て子どもたちは、「でっか〜い！」「スーパーのよりおおきいんじゃない！？」と大興奮でした。躊躇なく思いっきり大根を抜く子、恐る恐る大根を引っ張っている子など様々でした。抱えるほどの大きな大根を「うでがちぎれる…」と言いながらも大事に持って帰ってきました。持ち帰ったその日のうちに食べた子も多く、「だいこんサラダにした！」「おでんにした！」と教えてくれました。柔らかくて甘くて、スーパーの大根とは一味違ったようです。

園でも野菜を育てていますが、1人1本収穫出来る体験はなかなか難しいです。近所の方からのご厚意で子どもたちに貴重な体験が出来とても嬉しく思います。（ちょう組お便りより）



【ずっしりの大根！】

食品配布会に会場提供 まつのき保育園

2月の「子育て世帯食品配布会」にまつのき保育園が会場提供しました。これは浜松市の委託事業として一般社団法人「みらいトーク」が実施したものです。シングル家庭など生活に困難をかかえた世帯への支援で、120世帯が来場しました。みらいトークに所属する小児科医や保健師・心理士の他、社会福祉協議会職員・弁護士・労金などが個別相談も行いました。子どもの発達の問題や生活支援などワンストップで対応し、その場で専門機関へつながる事例もありました。みらいトークの学習支援のスタッフの大学生も、早朝より食品の準備や来場者案内などで活躍していました。

今後も園が地域支援のお役に立てばと思います。

2022年9月～2023年1月苦情報告(苦情・要望)

■まつのき保育園

近隣より送迎の保護者の車が一旦停止を忘れていて危険との通報がありました。一斉メールと掲示にて注意喚起を致しました。

■どんぐり保育園、くすのき保育園

要望・苦情ともにありませんでした。

■児童発達支援事業所「ころころ」・「ころころ伊場」、小規模保育事業所みかんの家

要望・苦情ともにありませんでした。